



※ 画像はイメージです。

JR水戸鉄道サービスへのエントリー制度による「不採用の通知」を受けて「労働基準監督署」を訪問し、相談員の方にこれまでの経過をお話ししました。相談員の方からは、以下のアドバイスを受けました。

- この条件における「不採用の理由」を私も知りたい。
- 「見習いなし即戦力」は通常、企業が最も必要な人材なのが一般的な判断。
- (前月の)勤務指定から12名を代替要員に指定している。一般的には「要員不足」
- 理由は記入がないため知りようがないが 「不合格=雇止め」である。
- 高齢者雇用法での 「努力義務」という法律の趣旨が、事業者には伝わっていないのは残念な状況だ。

一般的な判断がなされない、理由なき不採用通知を行うJR東日本グループの常識が社会の非常識であることが明白です。

労基署のアドバイスを基に、新たなたたかいに向けて動き出していきます。

JR水戸鉄道サービスで  
起きた理由なき不採用  
通知！ (後編)

「見習いなしの即戦力」は企業が最も必要な人材なのに！